

## 奈良県総合リハビリテーションセンター所長を拝命して

宮内 義純



平成23年4月1日付けをもちまして奈良県総合リハビリテーションセンター（以下“センター”と略す）所長に就任いたしました。岩崎洋明先生、尾崎二郎先生、北田 力先生に続き第4代目にあたりますが、責任の重大さに身の引き締まる思いです。

最初に私が就任いたします3週間前の平成23年3月11日（金）の午後2時46分ごろに東日本大震災が発生しました。テレビで放映された地震とその後生じた津波による災害は筆舌に尽くしがたい惨状であり、被災された方々には何とか耐え忍んで生きながらえてくださいと祈るばかりであります。さらにおいいうちをかけるように福島第1原発の事故が発生しました。国難ともいふべきこのような事態に直面して医療従事者として何らかの貢献ができないものかと考えております。広範囲にわたる大災害であり今後長期間にわたって支援が必要と考えられます。従って、センターからも救援のための人員の派遣が必要とされることも予想されます。その節には皆様のご協力をお願い申し上げます。

さて、所長就任にあたりまして今後のセンターをどのようにして行くかを思い描いてみました。センターは、奈良県の障害のある人々の自立および社会参加を支援するため、医療から職業訓練までの総合的な医療・福祉サービスを提供する中核機関として昭和63年に設立されました。当初は県内唯一の施設でありましたが、近年、療養病棟の再編に伴い、回復期リハビリ病棟や亜急性期病室の増加が続いています。また、急性期病院へのDPCの導入によって入院期間が短縮され、発症から回復期病棟へ入院するまでの期間も短縮されています。このような状況を危機として捉え、今までのような療養サービスだけではなく、患者さんの状態変化に対する対応力の強化が必要と考えます。また、病棟の稼働率を上げるために、急性期疾患を積極的に取り入れ、これを核として回復期病棟への患者さん供給サイクルを構築する必要があると思われま

す。1、さらに患者さんを増やすために

①急性期疾患をしっかりと診る

急性期の患者さんを増やして、療養病床へと患者さんを自前でも供給するルートを作る。

②県内急性期病院との連携の強化

リハビリを専門とする施設は、最近どんどん増えつつありますが、地域連携パス（脳卒中、大腿骨頸部骨折 etc.）を使って患者さんの獲得に努力する。

③地域の開業医の先生方との交流を深めて患者さんの紹介をしていただく。

“センターは、一般疾患を診ない”と思われている先生方がおられるようですが、これを解消するように努力する。

④地域住民の方に対して、センターが一般診療を行っていることをアピールする。周辺の人々ですら未だに障害者のみの特殊な治療施設であると受け止めておられるようです。疾患についての医療講演会や看護フェアなどの開催して親しみのあるセンターにできればいいと思います。

⑤病院の利益率を約5%と見積もると100万円の節約は、2000万円の売りに相当します。やはり、支出の抑制（節約）が経営改善の近道ではないでしょうか。

次に、センターに参りまして感じたことは、一見広い敷地と、ゆったりとしたスペースがあるように思っておりましたが、駐車場が時によっては不足しているように見受けられます。また、当初と比較して療法士さんの数のはるかに多くなり、スペースが狭く劣悪な環境で作業をされていると感じられました。これらのことはすぐに改善できることではありませんが課題であると認識しております。

最後になりましたが、

①患者さんに親切で・やさしい・安全で・効率的な医療を実践するセンター

②元気で明るい、そして意思疎通のいいセンター

③職員一同が同じ方向を向いて前進するセンターを皆さんとともに作っていきたいと思っております。なにとぞご協力のほどよろしく願いいたします。

# リハビリテーション科

理学療法、作業療法、言語聴覚療法の3部門があり、成人、小児のリハ対象者にサービスを提供しております。理学療法22名、作業療法30名、言語聴覚療法6名の計58名で、県内でも充実したスタッフ数をそろえています。



## 理学療法

### 成人部門

回復期、維持期の脳血管障害、整形疾患などの患者様に対して、起き上がる、立つ、歩く、といった基本的な動作能力の回復を図ります。また、週一回、ブレースクリニックを行っています。医師、理学療法士、義肢装具士が立会い、装具、車いすの検討、修正などを行います。

### 小児部門

小児では発達の途中にあるため、「寝返り」、「坐位」、「四つ這い」、「つかまり立ち」、「歩行」などの粗大運動を獲得できるように援助します。運動障害や発達の遅れのあるお子様に対して、訓練治療、自宅での体操や援助方法などの指導を行います。

## 作業療法

### 成人部門

日常生活に必要な動作(食事、更衣、排泄、入浴など)の訓練、家事動作訓練、自助具作製、高次脳機能障害に対する訓練、麻痺側の関節や筋力の訓練等を行っています。また、自宅の住宅改修への指導、福祉用具の選定なども行っています。

### 小児部門

脳性まひ、広汎性発達障害等の方の日常生活活動(食事、着替え等)や学習面(読み、書き等)、対人面(ことば、集団生活等)、情緒面(感情、注意等)等の問題に対して、遊びを使った治療、感覚統合療法、環境設定(自助具作成、用具選定等)、保護者支援等を行います。

## 言語聴覚療法

### 成人部門

言葉の理解や発話が困難になった患者様に、理解面や発語面の訓練を行います。話しにくい、声が出にくい患者様には、発声・発語器官の機能向上や構音(発音)の訓練を行います。食物が取り込みにくい、飲み込みにくい患者様に対し、食べる・飲み込む訓練を行っています。

### 小児部門

コミュニケーション能力を評価し、言語面、運動面、感覚面に対してアプローチを行っています。また、母親指導や保育園、幼稚園への伝達や就学時には学校への引き継ぎを行っています。難聴のお子様には、補聴器のフィッティングや聴能訓練を実施しています。

# リハビリテーション科

## 言語聴覚療法部門より

### 言語聴覚士とは

ことばや聴こえなど、コミュニケーション機能や、食べる機能に問題をお持ちの方及び周囲の方々に対して、専門知識・技術を用いて機能回復や機能維持のための検査、訓練、指導、援助、相談などを医師、歯科医師、看護師、理学療法士、作業療法士、教育関係者、療育関係者などと連携をはかりながら支援する専門職です。

### 言語聴覚障害は多種多様

病気（脳卒中など）や交通事故さらには発達上の問題で、ことばの障害、聴こえの障害、発声・発音の障害などコミュニケーションに問題が生じます。また、食べることに問題（摂食・嚥下障害）が起こることもあります。

### 言語聴覚療法の流れ

#### 【相談】

ことばや聴こえに関して、どのように困っておられるか伺い、ご本人や家族と今後の方針について考えます。

#### 【検査・評価】

問題点を明らかにし、適切な指導を行うため検査や評価を実施します。

#### 【訓練・指導】

検査や評価で得られた結果を元に、その方に合わせた訓練・指導計画を立て実施します。

#### 【助言・指導】

コミュニケーション障害の軽減には、周囲の人々の配慮や工夫も必要になる場合が少なくありません。こうした点について、ご家族・園・学校・職場等の方々への助言指導を行います。



### 当センターの言語聴覚療法

当センターでは、言語聴覚障害のある小児から成人まで、幅広い方を対象としてリハビリを行っています。また入院中だけでなく、退院後も必要に応じ外来でリハビリを継続することができます。

# こどもの発達障害

小児科 金廣 昭美

こどもの発達障害には、知的障害（精神遅滞）、広汎性発達障害（PDD:自閉症やアスペルガー障害など）、注意欠如多動性障害（ADHD）、学習障害（LD）などがあります。中でもPDDやADHD、LDは知的な遅れを伴わない事も多く周囲に理解されにくい障害です。「わがまま」や「しつけの悪さ」「甘やかしすぎ」などと誤解されている事も少なくありません。周囲から否定される事が多くなって、結果的に「人」との関係に自信が持てず自分自身の能力を出せなくなる、といった事がよく見られます。そういう二次障害を防ぐためには、やはり周囲がその特性を理解して関わり方を工夫する事が大切です。世の中の多数派（健常者）の常識や価値観すべてを一方的に押し付けるのではなく、「人」との関係に自信が持てるような環境、支援が望まれます。

当センターでは、発達障害のこどもが苦手とするイメージ力、いろいろな刺激・情報を整理する力、自らの反応の出し方をコントロールする力、実際の感覚とことばを結びつける力などを伸ばす目的で感覚統合訓練や言語訓練を行っています。

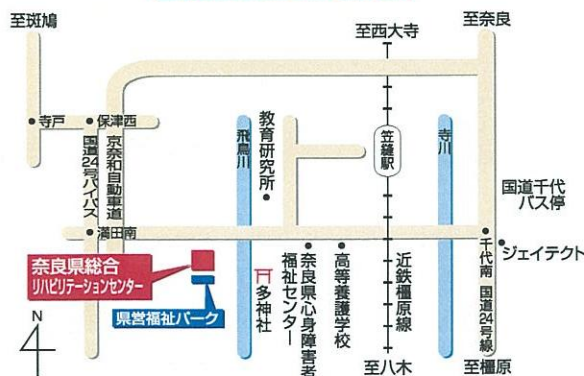
## 奈良県介護実習・普及センターのご案内

目的 介護の基本的な知識・技術について学習し、介護の実際についての理解を深める  
 対象者 介護に携わる職員(介護員・介護福祉士・介護支援専門員・その他介護職員等)・県民  
 受講料 各講座300円(資料代)・500円(教材材料費)

問い合わせ先 0744-32-8848

開催日	時間	講座内容	募集人数
平成23年 5/13(金)	13:00~16:00	介護保険制度の仕組み	30名
平成23年 5/25(水)	13:00~16:00	床ずれ予防と体位変換	30名
平成23年 6/8(水)	10:00~14:00	介護食を作ってみよう	25名
平成23年 6/23(木)	10:00~16:00	音楽療法の理解	30名
平成23年 7/7(木)	13:00~16:00	口腔ケアの実際	30名
平成23年 7/28(木)	13:00~16:00	嚥下障害と食事介助	30名
平成23年 8/3(水)	13:00~16:00	高齢者虐待 成年後見制度	30名
平成23年 8/25(木)	13:00~16:00	住宅改修 福祉用具の実際	30名
平成23年 9/9(金)	13:00~16:00	応急処置(AED)の知識と包帯の正しい巻き方	30名
平成23年 9/21(水)	13:00~16:00	認知症の理解とケア	30名
平成23年 10/29(土)	13:00~16:00	脳卒中患者の理解 片マヒ患者の機能訓練介護	30名
平成23年 11/17(木)	13:00~16:00	介護技術基礎(ベッド・車いす) 腰痛予防の介護方法	30名
平成23年 11/25(金)	13:00~16:00	介護予防について 認知症予防レクレーション	30名
平成23年 12/9(金)	13:00~16:00	フットケアと排泄ケア	30名
平成24年 1/18(水)	13:00~16:00	「アロマ」でリラクゼーション介護	30名

### 交通のご案内



### 交通機関

- 近鉄笠縫駅……1.3km  
徒歩約20分
- 近鉄田原本駅……タクシー  
約10分
- 近鉄八木駅……タクシー  
約10分  
…リハビリセンター行バス  
約15分  
(12/29~1/3は、運休)

### 奈良県総合リハビリテーションセンター

〒636-0393 奈良県磯城郡田原本町大字多722番地  
 電話0744(32)0200(代)  
 FAX0744(32)0208  
<http://www2.mahoroba.ne.jp/~narareha/>  
 (社会福祉法人 奈良県社会福祉事業団)

### 高次脳機能障害支援センター

#### ○ 基本理念

私たちは障害のある方々の自立と社会参加に向け、総合的なリハビリテーションサービスを通して、相互に人格と個性を尊重し支え合う「ともに生きる」社会の実現に貢献します。

#### ○ 基本方針

私たちは、基本理念を踏まえ、「利用者よし」「事業団よし」「地域よし」の「三方よし」の考え方を基本方針とし、職員一人ひとりが真心をもって、最適な医療・福祉サービスを提供します。